

INTERNATIONAL FESTIVAL OF 障害者の文化芸術国際フェスティバル DISABLED PEOPLES グランドオープニング「湖×海」ほほえむちからー ARTS AND CULTURE GRAND OPENING | Umi to Umi - hohoemu chikara-



2025年2月7日[金]—2月9日[日]

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール ほか

DAY 1: 2月7日[金]
国際フォーラム | 11:00-17:00 | 会場: びわ湖ホール 研修室

ワークショップ | 13:00-17:00 | 会場: コラボしが21 研修室

DAY 2: 2月8日[土]
舞台公演 | 13:30-20:30 | 会場: びわ湖ホール 中ホール

DAY 3: 2月9日[日]
糸賀一雄記念賞第二十三回音楽祭 | 14:00-16:30 | 会場: びわ湖ホール 中ホール

全席自由 2月8日[土]、9日[日]の鑑賞はチケットが必要です。(7日[金]は無料です)
各日1日券 一般 1,000円 障害者 500円

12月25日[水]
チケット発売開始!

※発売は1日券のみになります。両日鑑賞の場合は、各日のチケットをご購入ください。
※障害者の付添者1名・中学生以下無料となります。(2月8・9日は、無料の方もチケットが必要です) ※予約をおすすめします。

チケットの購入・予約方法
事前にチケットを購入または予約いただくと、入場がスムーズです。〈A〉では電話・メール・WEBフォームで予約を受けています。[お名前・人数・電話番号・必要な配慮]をお伝えください。〈B〉は窓口にて現金販売のみとなります。ご購入・ご予約のチケットの変更・キャンセルはお受けいたしかねます。中止や延期の場合を除き、返金には応じられませんので、ご了承ください。

〈A: 販売・予約〉
事務局 | 社会福祉法人グロー 法人企画局地域共生部 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦4837-2
TEL: 0748-46-8100 (平日9:00~17:45)
E-mail: kikaku@glow.or.jp
申込フォーム: <https://forms.gle/dVXGb5AfsiiFMUD8>

〈B: 販売〉
びわ湖ホールチケットセンター 滋賀県大津市打出浜15-1
休館日: 火曜日 (休日の場合は翌日)
TEL: 077-523-7136
受付時間 10:00~19:00

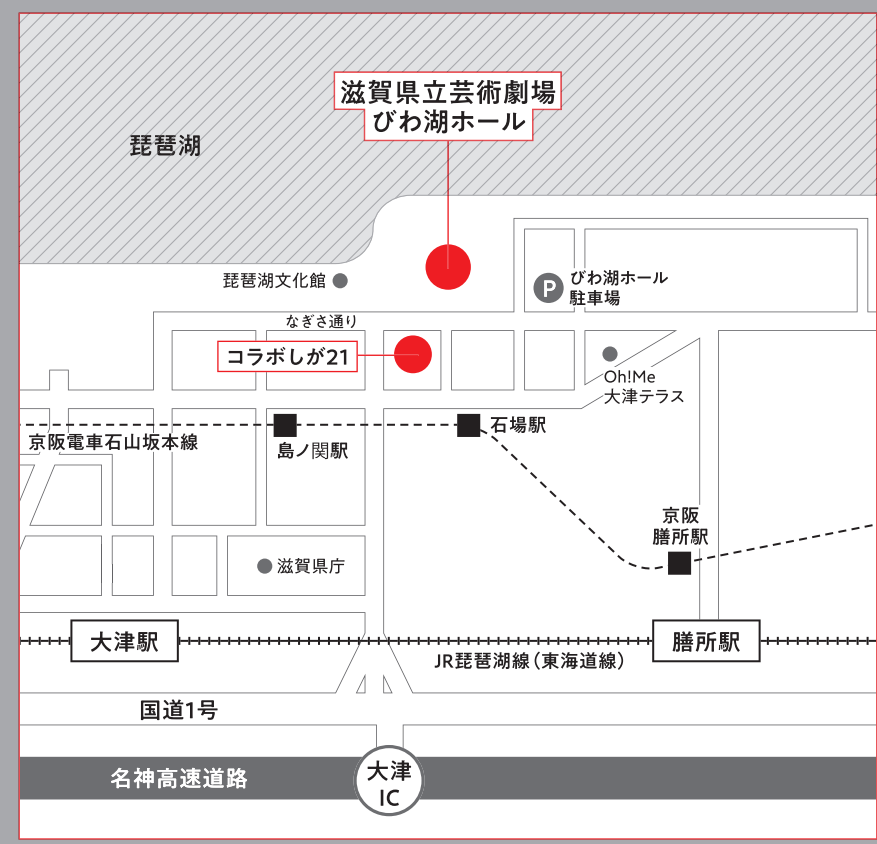
◎当日券はびわ湖ホール中ホール入口で販売します。(前売りで定員に達した場合は、ご入場いただけないことがあります)

アクセス 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール 滋賀県大津市打出浜15-1

◎JR琵琶湖線(東海道本線)「大津駅」から、臨時バスで約10分、徒歩のみで約20分
大津駅から臨時バスを運行する予定です。詳しい時間などはホームページをご覧ください。

◎JR琵琶湖線(東海道本線)「膳所駅」から、徒歩のみで約15分

◎「京阪膳所駅」より坂本比叡山公園方面に乗り、「石場駅」で下車、徒歩3分
京阪石場駅からの同行(移動サポート)を実施します。



日本博 JAPAN CULTURAL EXPO 2.0

「日本博2.0」は、2025年日本国際博覧会に向けて、日本の美と心を体現する我が国の文化芸術の振興及びその多様かつ普遍的な魅力を発信する国家プロジェクトです。

このプログラムは、「令和6年度日本博2.0(委託型)」の事業として、一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会と障がい者の芸術文化活動推進知事連盟、自治体と連携して実施します。国内外の障害者をはじめ、誰もがいつでもどこでも障害者の芸術文化にアクセスできる「文化芸術ユニバーサル・ツーリズム」を目指しています。そして、2025年の大阪・関西万博開催時には、国内外の障害者が、万博をゲートウェイとして、全国津々浦々に足を運んでいただきたいと考えています。

公演に関する詳しい情報や臨時バスの運行時間などは、以下の2つのサイトに掲載いたします。

障害者の文化芸術 共同創造プロジェクト Co-Creation with All Peoples
<https://artbrut-creation-nippon.jp/2022project/>



糸賀一雄記念賞音楽祭と障害のある人の表現活動発信ウェブサイト
<http://stage.art-brut.jp/>



障害者の文化芸術国際フェスティバル グランドオープニング
2025大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト 障害者の文化芸術国際フェスティバル グランドオープニング 【令和6年度日本博2.0事業(委託型)】
主催 一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
共催 滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール
協力 障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワーク
<構成団体>(社)日本身体障害者団体連合会、(社)日本視覚障害者団体連合、(一)全日本ろうあ連盟、(一)全国肢体不自由児者の父母の会連合会、(社)全国重症心身障害児(者)を守る会、(社)日本肢体不自由児協会、(公)全国精神保健福祉会連合会、(認定特非)DPI 日本会議、(一)日本自閉症協会、(公財)日本ダウン症協会、(社)全国盲ろう者協会、(一)全国知的障害児者生活サポート協会、全国身体障害者施設協議会、(特非)バリアフリー映画研究会、(特非)全国地域生活支援ネットワーク、(一)社)ジェネシオセンターイベント、全国自立生活センター協議会(IL)、(一)社)全国地域でくらしネットワーク<事務局>(一)社)全国手をつなぐ育成会連合会

連携・協働 障がい者の文化芸術活動推進知事連盟
後援 滋賀県 滋賀県教育委員会 大津市 大津市教育委員会
糸賀一雄記念賞第二十三回音楽祭
主催 糸賀一雄記念賞第二十三回音楽祭 実行委員会、社会福祉法人グロー(GLOW)～生きることが光になる～
音楽祭実行委員会 滋賀音楽振興会 滋賀県合唱連盟 (公財)糸賀一雄記念財団
滋賀県児童成人福祉施設協議会 (公)滋賀県手をつなぐ育成会 (公財)びわ湖芸術文化財団 (社)滋賀県社会福祉協議会 (公財)滋賀県身体障害者福祉協会 滋賀県障害福祉課・文化芸術振興課

「2025年大阪・関西万博に向けた文化芸術ユニバーサル・ツーリズムプロジェクト」は令和5年度から3か年かけて展開するプロジェクトです。本年度は「ユニバーサル・ツーリズム」及び「合理的配慮の提供」をさらに推し進めるとともに、アジア圏を中心とする海外へと活動を広げていくことを目的に「障害者の文化芸術国際フェスティバルグランドオープニング」を開催します。本フェスティバルは、大きく、「国際フォーラム」、「舞台芸術の発表」、「糸賀一雄記念賞第二十三回音楽祭」で構成され、台湾やオーストラリアからのゲストを交えて開催します。

糸賀一雄記念賞第二十三回音楽祭
第二十三回音楽祭は、障害者文化芸術国際フェスティバルのグランドオープニングの一環として開催し、各圏域で表現活動を積み重ねてきたワークショップグループの出演に加え、2025年に滋賀県で開催される国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会の開催に向けた文化プログラム事業にエントリーして、大会イメージソング「シャイン!!」を披露するワークショップグループを結成しました。音楽祭を通じて、滋賀の豊かな共生社会の形成へとつながっていくことを目指します。

どなたにもウェルカムな対応で、鑑賞をサポートします。

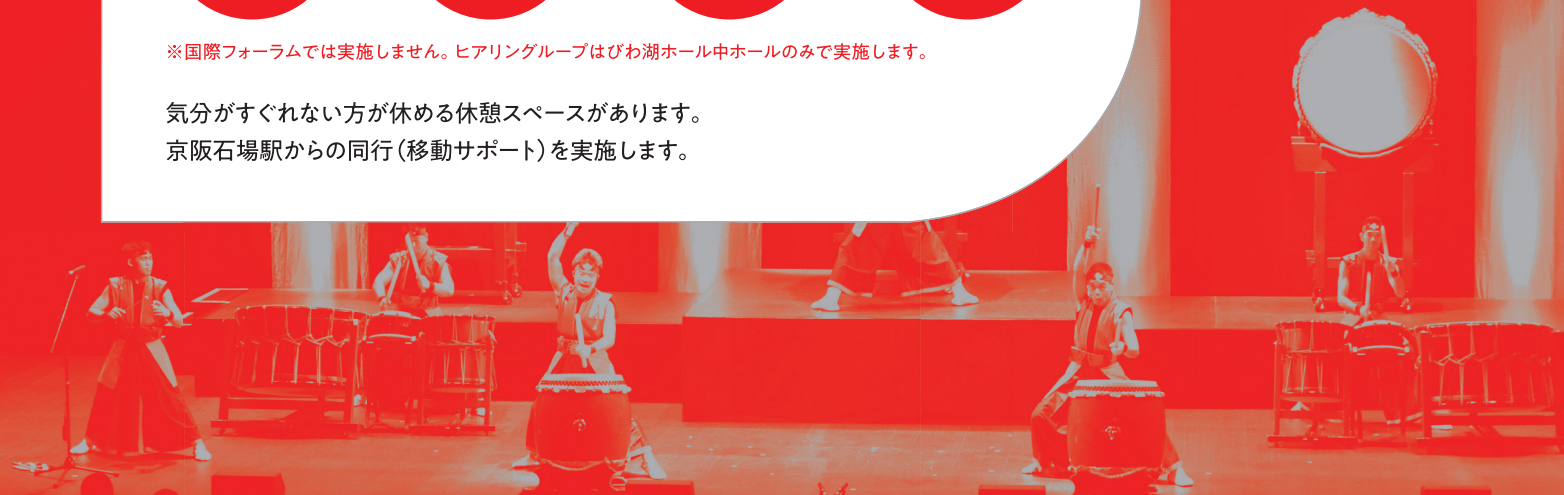
誰もが楽しめるフェスティバルとするため、駅から会場までのご案内、鑑賞の際の情報保障など、さまざまな準備をしてお待ちしています。困ったことや心配ごとがあれば、気軽に事務局にご相談ください。

誰もが参加できるように、合理的配慮に取り組みます

- 手話通訳
- 筆談ボード
- 文字サポート
- 多言語対応 (英・中(繁体字))
- 音声ガイド*
- ヒアリングループ*
- 車椅子席
- 点字プログラム

*国際フォーラムでは実施しません。ヒアリングループはびわ湖ホール中ホールのみで実施します。

気分がすぐれない方が休める休憩スペースがあります。
京阪石場駅からの同行(移動サポート)を実施します。



DAY 1 INTERNATIONAL FORUM & WORKSHOP

2月7日[金] 開場10:30

入場無料
※チケット不要

11:00-17:00 **国際フォーラム** 同時通訳あり(英・中<繁体字>) 会場:びわ湖ホール 3階 研修室

障害者の文化芸術国際フェスティバル グランドオープニング 国際フォーラム

文化芸術ユニバーサル・ツーリズムの実現を目指して

登壇者: 劉貞鳳(中華民国障害者家長総会 理事長)、久保厚子(障害者の文化芸術を推進する全国ネットワーク 会長)、佐々木桃子(一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 会長)



劉貞鳳



久保厚子



佐々木桃子

基調講演 障害者の文化芸術 台湾と日本を俯瞰して

登壇者: 林筱婷(中華民国障害者家長總會 主任)

教育から障害者の文化芸術を考える 日本と台湾の事例から

台湾の高等教育における心身障害学生支援システム〜カトリック輔仁大学を例として

登壇者: 趙家佳(カトリック輔仁大学 学務処 衛生保健組およびソर्स教室 組長/「深耕・飛翔」学生学習指導推進チーム 委員/特殊教育推進委員会 執行秘書)



林筱婷

信楽学園 文化芸術プログラムの実践から

登壇者: 山邊まみ、坂尻あづき(社会福祉法人グロー 事業担当)



趙家佳

パネルディスカッション

登壇者: 林筱婷、趙家佳、山邊まみ、坂尻あづき



山邊まみ

進行: 西川賢司(一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 障害者文化芸術[日本博事業]担当/社会福祉法人グロー 専務理事)



坂尻あづき

クロージング 又村あおい(一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事/事務局長)

※プログラムの詳細な時間は、決まり次第WEBサイトに掲載いたします。

13:00-17:00 ワークショップ

会場:コラボしが21 3階 研修室

BUS STOP FILMS(オーストラリア)ワークショップ

2009年より、障害のある人などとともに映画制作を行っています。障害のある人が映画制作を学ぶことで社会性や仕事のスキルを身につけるとともに、社会の意識改革を目指しています。本ワークショップでは、役者としての参加だけではなく、映画撮影やメイク、衣装などについて学んだり、実際にカメラ撮影や照明、音声などを体験し、ショートフィルムを制作します。

主催:BUS STOP FILMS 協力:日本ダウン症協会 一般社団法人マイノリティー交流協会

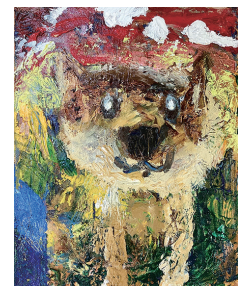


コラボしが21とびわ湖ホールは別の建物となります。コラボしが21には来場者用の駐車場はありません。

同時開催 日時:2月8日[土]、2月9日[日] 会場:中ホール ホワイエ ※ホワイエへの入場には、公演のチケットが必要です。

第4回あーと展覧会2024 入賞作品

主催:一般社団法人全国肢体不自由児者 父母の会連合会



最優秀賞

「秋田犬だー!」福原毅士 (秋田県立秋田はり支援学校中学部2年)

第42回(令和5年度) 「肢体不自由児・者の美術展/デジタル写真展」入賞作品展示

主催:社会福祉法人日本肢体不自由児協会/各道府県肢体不自由児協会



「ざりがに」前田笑華 (鹿児島県立鹿児島南特別支援学校小学部5年・当時)

DAY 2 STAGE PERFORMANCE

2月8日[土] 開場13:00

鑑賞にはチケットが必要です
購入方法は最終面をご覧ください

13:30-20:30 **舞台公演** 会場:びわ湖ホール 中ホール

オープニング [13:30] オープニング・アクト:施暲、施霏 「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワークフォーラム」

ダウン症のある人のお笑いコンテスト「D-1」グランプリ [15:00]

お笑いで笑うのもお笑いで人を笑わせるのも大好きなダウン症のある人たちのために、吉本の芸人や落語教育家を講師に迎え、「JDS お笑い講座2024」を全国4カ所で開催しました。講義後には参加者がお笑いを作って披露。各会場の優勝者による「D-1」グランプリを本会場で開催します。 ※D-1の「D」はダウン症・ダイバーシティからとりました。 主催:公益財団法人日本ダウン症協会

BUS STOP FILMS Presents 映画&トーク Short Film & Cross Talk [15:45]

BUS STOP FILMSがこれまでに制作したもの、裏話、作品の紹介などを同時通訳モデレーターを通して語ります。前日のワークショップの様子のスライドショーを上映。あわせて、これまでの取り組みについてのトークを実施します。

障害者の舞台芸術公演 [17:30]

当日のプログラムの順番や時間は決まり次第WEBにてお知らせいたします。

出演者: 星星王子打撃樂團(台湾/打楽器演奏)、施暲・施霏(台湾/ハーブ&フルート)、 桑の木神楽会(社会福祉法人いわみ福祉会)(日本/石見神楽)、瑞宝太鼓(社会福祉法人南高愛隣会)(日本/和太鼓)



星星王子打撃樂團(台湾)

1989年、台湾南部地域の保護者が「高雄市自閉症協進會」を設立。音楽を通じて子どもたちの感情や行動の成長を目指して「自閉児親子打撃樂團」を結成した。タンバリンや鉄琴などの楽器に触れチームワークを育み、子どもたちの潜在能力を引き出している。2000年、「星星王子打撃樂團」と命名。これまでに数百回の公演実績を誇る。35年間、音楽を通じて子どもたちと世界をつなぎ、勇気と信念に満ちた物語となっている。



桑の木神楽会(社会福祉法人いわみ福祉会)

1985年、桑の木園の利用者と職員が、石見地方に伝わる郷土芸能「石見神楽」を共に楽しむために結成。国内外を問わず積極的に公演活動を行っており、2017年10月にはフランス・ナント市で開催された障害者の文化芸術国際交流事業に参加、代表的な演目「大蛇(おろち)」の公演を成功させた。また2018年12月には長年続けてきたクラブ活動が評価され、障害者の生涯学習支援活動の文部科学大臣表彰を受賞。



施暲・施霏(台湾)

兄の施暲は国立新竹特殊教育學校3年生(高校3年生)。弟の施霏は国中八年級生(中学2年生)。コミュニケーションや理解力に課題を抱えるものの、ハーブ、ピアノ、フルート、木琴、ジャズドラムなど、多様な楽器を演奏するだけでなく、全国大会では個人部門で1位に輝き、さらには「大統領教育賞」を受賞した。音楽が得意な妹、施習之と一緒に合奏グループ「翼想天開Ornithopter S」を結成し、様々なチャリティー演奏会に参加している。



瑞宝太鼓(社会福祉法人南高愛隣会)

1987年、知的障害者の余暇サークルとして発足。楽しみながら練習と演奏活動を続けてきたが、「プロになりたい」とクラブ員から希望の声が上がり、その夢を叶えるため2001年に4名の団員で構成する「瑞宝太鼓」を結成。今では日本のみならず、世界を舞台に年100回以上の公演や講習活動を行う。「希望し、努力し、感謝して生きる」というテーマを胸に、夢を持ち希望することの大切さや、挑戦する勇気を発信している。

DAY 3 MUSIC FESTIVAL

2月9日[日] 開場13:00

鑑賞にはチケットが必要です
購入方法は最終面をご覧ください

13:30より「あらかじめ舞台ガイド」を実施します。舞台上で楽器などに触れる時間で、どなたでもご参加いただけます。

14:00-16:30 **糸賀一雄記念賞第二十三回音楽祭** 会場:びわ湖ホール 中ホール

[わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ文化プログラム事業]

出演者: 湖南ワークショップグループ、近江学園ワークショップグループ、大津ワークショップグループ、「シャイン!!」ワークショップグループ、星星王子打撃樂團(フィナーレのみ)、施暲・施霏(フィナーレのみ)



湖南ワークショップグループ

ナビゲーター: 北村成美
湖南圏域に住む障害のある人と、福祉施設のスタッフ、プロのアーティストが共に作り奏で踊るパフォーマンス集団。ダンスによって動きを強制あるいは矯正するのではなく、その人の振る舞いをすべてダンスとして肯定し、響き合い、共生する、ダイナミックな舞台づくりを信条としている。



大津ワークショップグループ

ナビゲーター: 清水美紀
大津ワークショップに集まってきたメンバーたち!!「今日は何の楽器から始めようかな」と何気なく手に取った楽器から、音がひとつ、ふたつ…。リズムや音や声为重なり、いつしか即興のメロディーが奏でられています!大好きな音楽を通してメンバーの個性あふれる伸びやかなパフォーマンスをぜひ一緒に楽しみください!!



近江学園ワークショップグループ

ナビゲーター: 中路友恵

近江学園の子どもたちによるワークショップグループです。打楽器合奏やうたを中心とした活動をしています。ワークショップのメンバーは毎年入れ替わりですが、音楽祭の歴史のなかで生まれ受け継がれてきたものに、一年一年新しいアイデアを加え発展してきました。



「シャイン!!」ワークショップグループ

ナビゲーター:yokko、編曲・構成:谷川賢作

2025年秋に滋賀で開催される国民スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会を盛り上げるために集結したワークショップグループです。イメージソング「シャイン!!」を音楽祭オリジナルアレンジで披露します。[参加団体]社会福祉法人青い鳥会彦根学園、湖南ワークショップグループ、スキップハート、手話サークルすずらん、劇団まほろ座、和太鼓とんとこ

《総合プロデューサー》小室 等(フォークシンガー)

坂田 明(アルトサクソフーン)・高良 久美子(パーカッション)・谷川 賢作(ピアノ)・吉田 隆一(バリトンサクソフーン)・こむろゆい(うた)



小室 等



坂田 明



高良 久美子



谷川 賢作



吉田 隆一



こむろゆい

小室等&ゲストミュージシャン

2012年、糸賀一雄記念賞第十一回音楽祭より総合プロデューサーを務める小室等と、小室の呼びかけに呼応し集結した、音楽祭をトリックスターとして支えるゲストミュージシャン。この音楽祭は、ワークショップのメンバーたちにミュージシャンが交じって奏でることで、歓びの祭りとなる。

糸賀一雄記念賞音楽祭とは

障害福祉の発展に尽力された糸賀一雄氏の思想や心を受け継ぎ、障害者などの生きづらさがある人に関する取り組みで顕著な活躍をされている個人および団体に贈呈される「糸賀一雄記念賞」および「糸賀一雄記念未来賞」。本音楽祭は同賞の受賞者をお祝いするため、2002年より開催しています。

